

岐阜信金、經常減益

3月期 マイナス金利影響

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）が12日発表した2019年3月期単体決算は、マイナス金利政策による低金利で資金利益が減ったものの、本業の収益力を示す実質業務純益は前期比4・7％減の34億5000万円で微減にとどまった。業務の効率化や時間外勤務の縮減による経費削減が寄与した。純利益は与信関係費用の増加が響き、21・9％減の32億6900万円だった。

実質業務純益は、資金利
益の減少が続く中、働き方
改革の進展により、大幅に増
加した。また、営業活動によ
る現金の増減は、前年比で

改革に伴う勤務時間の見直しなど時間管理の徹底を図り、経費を約9億円削減。与信関係費用は、取引先の倒産などに備えて計上する貸倒引当金を保守的にみて

積み増したため、大幅に増えた。

36億2000万円となり、2期ぶりの減益。経常収益

期末貸出金残高は、製造業を中心とした岐阜、愛知は12・7%減の288億7300万円だった。

県の底堅い景気に支えられて事業性融資が堅調に増加し、0・4％増の1兆3077億円となった。期末預

財務の健全性を示す自己資本比率は、0・10％低下の9・36％で、国内基準の4％を上回った。

金残高は 法人預金の増加で1・2%増の2兆3233億円だった。

20年3月期予想は、米中貿易摩擦の激化などで景気の先行きが不透明として、

経常利益は48・9%減の
公表しなかった。

専務理事に山口氏

岐阜信用金庫は12日、山口貴生常務理事が専務理事に昇任する役員人事を発表した。同日付。

石神靖也経営企画部長と

執行義徳人事部長はそれぞれ理事に就任。好岡政宏常務理事、浅野一成常務理事は総務部長、融資部長の委嘱をそれぞれ解いた。

杉原茂彦理事は退任し、常任監事に就任。大竹誠常

	経常収益	経常損益	純損益
岐阜信用金庫			
(単)	28,873 (▲12.7)	3,620 (▲48.9)	3,269 (▲21.9)
(予)	—	—	—

【注】単位は百万円、%、▲はマイナス。(単)は単体、(予)は2020年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。

任監事は退任した。

山口 貴生氏(やまぐち・たかお)

同志社法学部卒。
81年入庫。営業企画
部長、理事を経て15
年から常務理事。61

歲。

石神 靖也氏（いしがみ・やすなり）
関西大学法学部卒。87年入庫。秘書室秘書役、経営企画部次長を経て17年から同

部長。56歳。

執行 義徳氏（しきよう・よし）
（り）明治学院大経済学部卒。87年入庫。

長。54歳。
業務推進部推進役を
経て17年から人事部

杉原 茂彦氏（すぎはら・しげひこ）同志社大文学部卒。財務省勤務を経て18年1月入庫、監査部調査役。同6月

から理事 60歳。
岐卓信信用金庫人事（12日）＝地名のみは支店長、地名の後の役職は支店内の役職。
総務部長（総務部副部長） 吉田賢治／融資部長（融資部副部長） 大野達哉／システム統括部長（システム統括部副部長）江崎義徳／融資部長（名古屋 堀川裕史／融資部副部長役（真砂町）寺田陽一朗）
総務部次長代理（総務部総務課長） 鈴木秀

田中光則(名古屋) 篠沢元興
 安田正樹(大島川隆雄) 真砂田英
 中村村重(淺井・土田勝弘) 八田(融資)
 村部善虎(三朋明) 中津川(八田)
 堀野(大山(楠町)森瀬寛和) 柿町
 東羽鳥(鈴・綾) 関(中村公成) 佐
 緒務長(香井) 千手堂(田垣達郎) 緒務部
 調査(蘇原) 春日孝浩(蘇原) 羽鳥武
 丹羽重彦(東羽鳥(融資部融資支援課長
 服部達彦(浅井(香流橋次郎) 羽鳥武(香
 日井) 磯崎次長(香流橋次郎) 羽鳥次長(栗
 田次長(山田英志) 穂橋次長(岐南次長)
 村井典昭(人事部副調査役) 司見次長
 堀松憲一(卒松次長) 人事部副調査役(川
 喜田知宏(香流橋次長(恵那副長) 高田

陳幸渠田次長 業務推進部副調查役 栗田
博文岐原田次長 業務推進部副調查役
高藤孝一可兒次長 植田副長 高間匡彦
○融資部融資交際課長 融資部副調查役
長岸伸信美光寺副長 平田副長 吉田
浩基○笠松副長 美江寺寺長 森本浩史
○三田洞副長 北沢副調查役 稻川雅夫
○惠那副長 三田洞副長 横尋敬二○香
田副長 春日井井役所副長 中島多平
○植田副長 切通副長 早川泰宏一宮
長○多治見副長 坂井康史○種神副
長○笠松副長 林康雄 春日井役所前副
長 芥見副長 古田聖二○業務推進部副
調查役 齋田副長 杉原孝○鷺山副長
（補町役所代理） 長谷友一○多治見副長
（名古屋支店代理） 長友聖